

R5年度 事業名	福井鉄道福武線支援事業
R4年度 事業名	福井鉄道福武線支援事業

総合戦略 体系	421	安心で快適に暮らせるまちの創造	幹線交通網の変化を見据えた二次交通網の整備	幹線交通網と二次交通網のネットワークによる地域公共交通網の形成
------------	-----	-----------------	-----------------------	---------------------------------

PLAN (計画)	部署名	総合交通課	開始年度	2008	終了年度	2027
	目的	福井鉄道福武線の運行維持のため、県および沿線3市で行政支援を実施し経営安定化に資する。				
	概要	令和4年度に改定を行った福井鉄道交通圏地域公共交通計画に基き、福井鉄道に対し令和5年度～令和9年度までの5年間で県が16.4億円、沿線3市で9.0億円の行政支援を行う。このうち沿線3市の助成は運行維持修繕費に当てられる。また、行政と沿線住民、市民団体が連携して地域の鉄道の利用促進を図るため、「福井鉄道福武線活性化連携協議会」での主要施策の進捗状況の確認や「福井鉄道福武線利用促進鯖江市民会議」の活動への支援を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	補助金等交付		運行維持費補助金 55,600千円 利用促進鯖江市民会議補助金 680千円 福井鉄道福武線活性化連携協議会負担金 1,400千円			

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	鯖江市内6駅利用者数		人	目標値	520,000	500,000	500,000	500,000	500,000
				実績値	372,949	407,237	428,515		
	計算 根拠			達成率	71.7	81.4	85.7		
				実数値					
			ランク	C	B	B			
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス感染症拡大による影響								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	49,550	49,550	49,530	50,330	57,680		事業タイプ	単独事業
	決算額	49,550	49,550	49,510	50,177			経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	8	603	福井鉄道福武線支援事業費	57,680	57,680
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	57,680

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者等に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	令和4年度に策定した福井鉄道交通圏地域公共交通計画(令和5年度~令和9年度)に基づき、サポート団体、県、沿線市と連携しながら、引き続き利用促進や財政支援を行っていく。	

来年度へ向けて	R4年度の実績	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、鯖江市内6駅の利用者数は令和3年度は令和元年度比約5万6千人減少したが、令和4年度は約3万5千人減まで回復し、福井鉄道福武線全25駅では、令和3年度は令和元年度比約23万1千人減少したが、令和4年度は比約11万5千人減まで回復した。 ・福武線年間利用者数
		R元年度 R2年度 R3年度 R4年度 市内6駅合計 463,782人 372,949人 407,237人 428,515人
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続く中でも、令和4年度の利用者数は回復傾向となったが、依然としてコロナ禍前の令和元年度と比べると、約9割にとどまっている。令和5年3月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類へと変更されたことにより、利用者は回復すると予想されるが、更なる利用者増加のため利用促進策が必要である。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	福井鉄道交通圏地域公共交通計画の下で、通勤、通学、買い物等、市民の日常生活を支える安心・安全な運行の維持および利用促進の活動を支援していく。
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	鯖江公共交通振興会運営補助事業
R4年度 事業名	鯖江公共交通振興会運営補助事業

総合戦略 体系	421	安心で快適に暮らせるまちの創造	幹線交通網の変化を見据えた二次交通網の整備	幹線交通網と二次交通網のネットワークによる地域公共交通網の形成
------------	-----	-----------------	-----------------------	---------------------------------

PLAN (計画)	部署名	総合交通課	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	鯖江公共交通振興会が実施する事業を通して、ハピライン、福井鉄道、つつじバスなどの公共交通利用促進を図る。				
	概要	鯖江公共交通振興会運営(以下が主な活動内容)のための補助を行う。 ・つつじバス、福井鉄道、ハピラインふくい利用促進についての提案 ・福鉄プレミア1日フリー乗車券を提示された方がつつじバス1日無料になる制度の実施 ・県・ハピラインふくい等への要望				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	会員数→振興会事業実施回数 ※～2019年度		回	目標値					
				実績値					
	計算 根拠			達成率					
				実数値					
	振興会事業実施回数 ※2020年度～		回	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	2	2	1		
	計算 根拠			達成率	66.7	66.7	33.3		
				実数値					
				ランク	C	C	C		
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス感染症拡大による影響								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	500	500	0	0	0		事業タイプ	単独事業
	決算額	500	0	0	0	0		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	8	602	地方鉄道維持費補助金等	5,020	0
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	0

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	30

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	新型コロナウイルス感染症の影響により、補助金の交付は休止しているが、令和6年春の北陸新幹線敦賀開業を踏まえ、並行在来線や福井鉄道福武線、つつじバスの利用促進を図るため、実施可能な事業検討のためのサポートを行う。
来年度へ向けて	R4年度の実績 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、積極的な利用促進活動は実施できなかったため補助金は休止中。つつじバスの福鉄プレミア1日フリー乗車券利用者実績は126名。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 今後の公共交通機関の利用促進活動のあり方について協議していく中で、新型コロナウイルス感染症の位置づけも変わったことから、更なる活動推進のため、必要な支援は継続していく必要がある。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 令和2年から令和4年は新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限もあり、公共交通機関の利用者も減少し、振興会の事業も実施できなかったため、市の財政支援もストップしていた。令和5年からは、行動制限も緩和され、公共交通機関利用者の増加も見込まれるとともに、令和6年3月には、JR北陸本線の県内区間が、ハピラインふくに移行されるため、福井鉄道福武線、つつじバスを含めた市内公共交通機関の更なる利用促進活動が必要となってくる。事務事業改善は実施しないが、振興会の事業推進のため、市の財政支援を再開し、コロナ禍前の事務事業の形態を維持し、成果指標を達成していく。
	R6方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円):"/>	<input type="text" value="0"/>
R6年度事業名	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円):"/>	<input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	コミュニティバス運行事業
R4年度 事業名	コミュニティバス運行事業

総合戦略 体系	421	安心で快適に暮らせるまちの創造	幹線交通網の変化を見据えた二次交通網の整備	幹線交通網と二次交通網のネットワークによる地域公共交通網の形成
------------	-----	-----------------	-----------------------	---------------------------------

PLAN (計画)	部署名	総合交通課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	高齢者、障がい者にもやさしい市民の足を確保する。 北陸新幹線敦賀開業により幹線交通網が大きく変化するため、幹線交通網と二次交通網のネットワーク化を図り、より利便性の高い公共交通網を形成する。				
	概要	・コミュニティバス「つつじバス」を事業者に委託して運行している。 ・幹線交通網と二次交通網のネットワーク化の推進を図るため、平成27年度から「鯖江市地域公共交通活性化協議会」を設置し、「鯖江市地域公共交通計画」ならびに「鯖江市地域公共交通利便増進実施計画」を令和3年12月に改訂し、「豊かさや安心のある暮らしを支える交通環境」を目指す。【旧計画:平成29年度～令和3年度、新計画:令和4年度～】				
	法令等 根拠	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 (平成19年法律第59号)	実施 形態	内容	運行主体である市が民間乗合事業者に運行委託している。	
現在	民間等委託(全部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	運行便数		便	目標値	21,503	21,503	24,798	24,798	24,798
				実績値	22,063	21,417	24,798		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	利用者数		人	目標値	180,000	150,000	150,000	155,000	155,000
				実績値	101,181	106,351	113,806		
	計算 根拠			達成率	56.2	70.9	75.9		
				実数値					
			ランク	C	C	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス感染症拡大による影響								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	121,098	115,537	115,227	172,219	170,908		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	117,228	111,394	112,644	144,081			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	8	202	コミュニティバス運行事業費	170,908	170,908	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	170,908

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	市町生活交通維持支援事業費補助金	22,000
2	コミュニティバス利用者負担金	12,000
3	広告料収入	1,000
4	コミュニティバスフィーダー国庫補助金	13,722
5以降	コミュニティ助成金	10,000
合計		58,722

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	11
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく「鯖江市地域公共交通計画」および「鯖江市地域公共交通利便増進実施計画」に基づき、広報PRなど、再編した運行ダイヤを周知していくとともに新たな利用者層獲得のためSNSを活用した情報発信を行い利用促進活動に努めていく。
来年度へ向けて	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 R4年度実績 新型コロナウイルス感染拡大に伴う高齢者の出控え等が続き、対前年度比では回復傾向にあるものの、コロナ禍前の令和元年度と比較すると、約8割の利用者数にとどまった。 ・つづバス年間利用者数 R元年度:137,233人、R2年度:101,181人、R3年度:106,351人、R4年度:113,806人
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 コロナ禍により減少した利用者数の回復には、相当の期間が必要と思われる。 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく地域公共交通計画および地域公共交通利便増進実施計画を令和3年度に策定し、大幅なダイヤ改正を令和4年4月1日に実施しており、今後は、出前講座等でダイヤ改正後の市民の意見を聞きながら、更なる改善点を整理していく。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 コミュニティバスに乗っていただくための取り組みを行いながら、利用者の意見の把握、ダイヤ等の改善点の整理を継続していく。
R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	自家用有償旅客運送実証事業補助金
R4年度 事業名	自家用有償旅客運送実証事業補助金

総合戦略 体系	421	安心で快適に暮らせるまちの創造	幹線交通網の変化を見据えた二次交通網の整備	幹線交通網と二次交通網のネットワークによる地域公共交通網の形成
------------	-----	-----------------	-----------------------	---------------------------------

PLAN (計画)	部署名	総合交通課	開始年度	2020	終了年度	9999
	目的	河和田地区において、地域交通系実証事業および高齢者生活支援系実証事業について、密接な連携を図りながら、高齢者の移動手段を担う自家用有償旅客運送や高齢者の生活支援を実現、検証する。河和田地区でいつまでも住み続けられるまち「互助コミュニティ」の構築を目指す。				
	概要	地域交通系実証事業 (河和田地区を発着とする有償ボランティアによる自家用有償旅客運送)				
法令等 根拠		実施 形態	内容	補助事業である。		
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	有償ボランティアドライバー登録数		人	目標値	15	15	15	15	15
				実績値	-	9	10		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	タクシー事業稼働回数(1ドライバー1月当たり平均)		回	目標値	15	15	15	15	15
				実績値	-	3.1	2.9		
	計算 根拠			達成率		20	19		
				実数値					
		ランク		-	C	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス感染症の影響による外出控えおよび事業の周知不足のため。								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額		6,000	6,000	6,000	3,000		事業タイ	単独事業
	決算額		6,000	6,000	6,000			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	2	1	8	201	公共交通施設管理諸経費	5,057	3,000
2							
3							
4							
5以降							
合計							3,000

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計 点数	7
判定	事務改善または廃止・休止

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	自家用有償旅客運送の実証運行「ちょいボラ交通」が令和3年5月6日から有償運行が始まり、正式に会員登録およびドライバー募集を始めた。令和4年度が見直し年度となるが、本事業がコロナ禍の令和2年度から開始されている実証事業のため、コロナ後の実証運行を検証し、今後の事業の継続性の判断等を見極めていく。
来年度へ向けて	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 より利活用を促進するには、積極的な広報活動の継続が必要。会員も利用者も増加はしているものの、事業の採算性、継続性等の検証を行う必要がある。
	R4年度実績 令和3年4月に運輸局に登録し、5月より有償による実証運行を行っている。登録ドライバーは10人、年間利用者は342人(前年度229人)であった。また、地域住民に本事業についての周知を図るべく、町内公民館や公共施設、銀行等に啓発ポスターを掲示するとともに年度末からは積極的な周知活動を行った結果、会員数は43人から194人に増加、7月には地区内の運行を300円定額とする料金の改正を行い、近距離移動の利用促進を図った。
	R6方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し) CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒